

2026年6月24日所長会見 所感

- まず、WANOピアレビューについてです。
当発電所では、5月28日から6月11日までの約2週間、世界原子力発電事業者協会（WANO）のピアレビューを実施いたしました。
- WANOは、チェルノブイリ事故を契機に1989年5月に設立された原子力発電事業者の国際組織になります。
- ピアレビューは、世界中の原子力専門家で構成されたチームが発電所に訪問し、現場での作業観察や発電所員へのインタビューなどを行い、世界の最高水準と比較・評価し、安全性と信頼性の向上を支援するものです。
- 当発電所におけるWANOピアレビューの実施は、2023年5月以来で、今回が8回目となります。
- WANOチームの方々と所員が一緒になって、1～7号機の現場における操作や作業などを詳しく観察し、他の発電所の参考となるような取り組みや、世界水準と比較し更に改善できることなどについて、意見を交わしております。
- WANOのレビュー方針に基づき、詳細な内容はお伝えできませんが、昨年より災害事例が発生している事もあり、現場作業の安全に関する改善点等について、議論しました。

- 次に、昨日開催されました、第23回原子力改革監視委員会についてです。
- 委員会の中では、当社の取り組みは着実に進展してきたと評価いただきました。

他にも、

- ・ 原子力安全の取り組みに終わりはなく、不断の向上を追求し続けること
- ・ 積み重ねてきた取り組みを持続可能な制度・仕組み・文化として定着させていくこと
- ・ WANOなどの外部からの指摘を積極的に受け入れ、その内容に誠実に向き合う姿勢を維持発展させていくこと
- ・ 1F事故の反省と教訓に常に立ち返り、原子力安全を最優先に、改めて徹底していくこと

など、今後に向けた提言をいただいております。

- WANOや委員会でいただいたご意見を踏まえ、引き続き、発電所で働くすべての人が「ワンチーム」となって、安全性の向上に努めてまいります。

- 最後に、今年も柏崎市立第一中学校の生徒会が主催する「えんま市清掃」に、社員 32 名とともに私も参加いたしました。
- 地域の一員として町をきれいにすることで、地元の皆さまに、気持ちよく生活していただきたいとの思いで、清掃活動を行っております。また、清掃活動を通じて地元の中学生の皆さまにも、発電所員を身近に感じていただければと思います。
- 今後も地域の皆さまと一緒にあって、地域を盛り上げ、発電所の志に掲げた、「地域を愛し、地域に愛される発電所」を目指してまいります。
- 本日私からは以上です。